



散歩だより

2024年12月7日発行

編集・発行 市民自治こがねい

〒184-0012

小金井市中町1-2-47 佐藤氣付

TEL: 090-6014-3566

HP: <http://www.sijiko.com/>

特 集

災害 その時どうする？ ～ちょっと考えてみませんか～

能登半島での、今年の元日の地震そして9月の豪雨による水害。そこに住む人々の日常が未だ戻らない状況に心が痛みます。

世界的な気候変動で水害も大型化、頻繁化していることは否めません。加えて日本においては地震のリスクも高まっています。国には、もう地震、水害といった単独の災害ごとに対処するのではなく、複合災害の視点を持ち、十分な予算を取って防災・減災・復旧の対応を考えもらいたいと思います。

一方、私たち自身はどの程度備えられているのでしょうか？自信のある人はなかなか少ないと思い

ます。個人でやれることには限りもありますし。いざという時に頼りになるのは？そもそも、経験したことがないと避難所に対しても漠然としたイメージしか持てないかもしれません。

そこで市民自治こがねいでは、9月25日に市の地域安全課防災消防係担当者をお呼びしてみんなで話をききました（小金井市まなびあい出前講座『災害に備えて安全対策を』わたしたちの防災対策～自助・共助・公助～）。

なかなかに学びの多い内容で、急に企画したこととはいえ、もっと広くお知らせしなかったことを反省。

小金井市の被害想定（2022年・東京都発表）

想定地震		多摩東部直下地震（冬18時）
震度		6弱～6強
建物被害	全壊	445棟
	半壊	1,567棟
火災	焼失棟数	1,565棟
避難者	発生数（1日後）	12,448人
	発生数ピーク（4日後）	21,091人
	避難所生活者割合	85～66.7%
人的被害	死者	49人
	負傷者	662人
停電率		8.5%
上水道断水率		21.1%
ガス支障率		49.9%

ちなみに東日本大震災の時は5弱

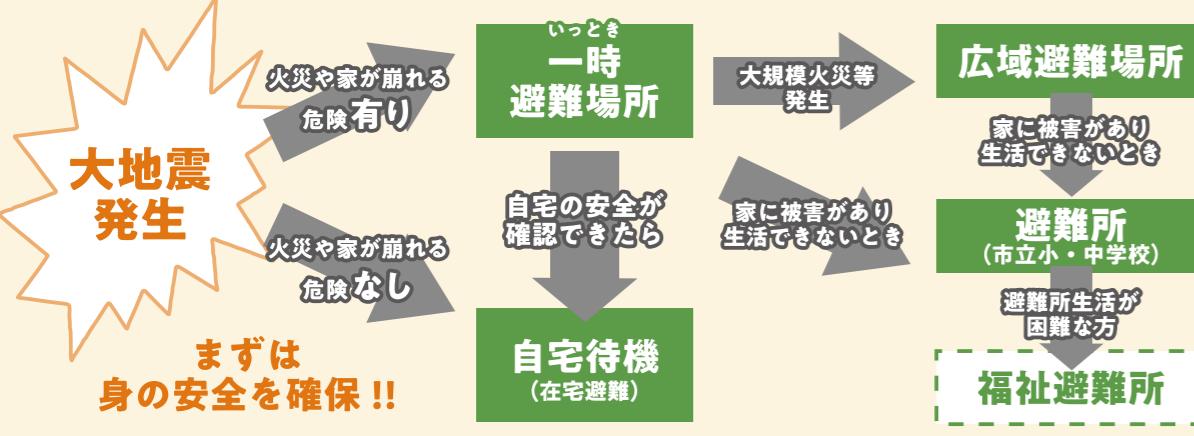
こちらの2022年東京都発表の資料による首都直下地震などによる小金井市の被害想定をご覧ください。

割合から計算すると、ピーク時の避難所生活者は14,000人くらいと想定されます。小金井市内の14の避難所すべてを合わせてもとても全員が入れるキャパではありません。そのことからも、被災したら即避難所へ、ではなく、状況により在宅避難という選択肢も視野に入れるべきなのだな、ということがわかります。

ここを起点に、本特集では、まなびあい出前講座で知ったこと、気づき考えたことを皆さんと共有したいと思います。

大地震発生!! その後に起こる、主に避難生活のこと

小金井市では震度5強以上の地震が起きた時、市長を本部長とする災害対策本部が立ち上がります。まず自分と家族の安全を確認した後の流れは次のようにになります。



避難所は避難者自身による自主運営が基本

各避難所に5名の市職員が初動要員として割り当てられており、開設・誘導・運営チーム作りなどを主導しますが、行政が何から何までやってくれるわけではありません。避難所は、行けば安全・安心な場所ではなく、避難者全員で安全・安心な場所を作り上げていく必要があります。避難所運営は、避難者自身による自主運営が基本なのです。被災後に一から避難所運営組織を作っていては間に合わないので、平時から避難所運営協議会の設置が進められています。2024年10月時点で、市内14避難所のうち9か所で協議会が組織されています。あと5カ所でも運営協議会の組織化が待ちられます。

『避難所運営マニュアル』より

- 開設は原則として、市職員が施設管理者および施設職員の協力を得て行う ●運営組織は、避難者・市職員との合議制で運営が原則 ●運営の中核となる人物は、ア.自主防災組織、町会・自治会の役員 イ.その他（例：PTA等）避難者の意見により推薦された人等



はじめは単にブルーシートの仕切り程度。その後、段ボールなどの仕切り。支援物資が届くとテント型の仕切りができる。

避難所運営には必ずジェンダー平等と多様性を尊重する視点を取り入れ、声を上げづらい人たちへの配慮を忘れないで欲しい。これまで震災等の混乱状態の中、性暴力被害が起きており、そのことをカミングアウトするのは、とても勇気がいることだ。東日本大震災後に開設された無料電話相談には多数の性暴力被害・DVに関する相談が寄せられた。災害時の性被害は、いつどこでおきてもおかしくない。それは重大な人権侵害だということを常日頃伝えていこう。（若林）

参考/NHKみんなでプラス 災害時の性被害 東日本大震災で見えてきた被災地の声
<https://www.nhk.or.jp/minplus/0011/topic027.html>

被災時に気になるあれこれ

飲料、生活用水は？

給水ステーションは、梶野配水所（梶野町5-10-33）・上水南給水所（小平市上水南町3-12-36）・都立武蔵野公園応急給水槽（府中市多磨町3-2）。施設内の水道管がダメになった場合には、その他消火栓からも水を供給できるようになっています。

震災対策用指定井戸も市内に約40カ所あります。こちらの井戸は飲用ではなく、あくまで生活用水として考えてください。小金井防災マップでお住いの近くの井戸を確認しておきましょう。



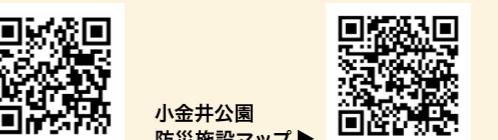
小金井防災マップ▶

トイレの設備は？

人は1日に5~7回トイレに行くといわれ、災害時のトイレ問題はとても重要。大災害時には、断水や、配管が壊れるなどしてトイレが使えないになると予想されます。また、仮設トイレの設置に4日以上かかった事例もあり、過去の災害ではトイレが使えない多くの人々が混乱し、「トイレパニック」という言葉もできたほど。

小金井市では、市内の学校（小・中）14校に10基ずつ、計140基のマンホールトイレの整備を進めており、発災後約1日で設置する想定をしているそうです。しかし状況によっては市の職員だけで円滑に設置作業に取り組めない場合も考えられ、市民の協力が不可欠です。また、下水道管自体が破損しているかもしれません。そのため、小金井市では最低でも3日分の携帯トイレの準備を推奨しています（国土交通省のガイドラインでは最低3日間、推奨1週間）。

広域避難場所である『小金井公園』の防災施設マップにはマンホールトイレの設置箇所も記載されています。



災害時のトイレ使用について
(国土交通省リーフレット)▶

小金井公園
防災施設マップ▶

医療は？

災害時には患者数が圧倒的に多くなり、通常の医療を受けられることが困難になります。市内の診療所は閉鎖され、災害時の医療拠点病院を『小金井太陽病院』と『桜町病院』とし、緊急医療救護所が『小金井太陽病院』『桜町病院』『小金井リハビリテーション病院』『日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック』の敷地内に設置され、医師が各所に派遣され救護等を行うことになっています。

市報8月15日号は防災特集でした。今年は公民館でも災害に関する講座が組まれるなど、市民の関心も高いようです。個人で出来る備蓄や心がまえだけでなく、共にできること、互いに備えられることなどを考えてみませんか。

避難所・給水スポット（○）はどこにある？

市報こがねい2024年8月15日(No.1561)
と小金井市防災拠点マップより

避難所・避難場所マップ



- 避難所等への避難に備えて
- ▶非常用持ち出し品を準備
- ▶最寄りの避難場所等を市防災マップ等で確認

広域避難場所
火災が広範囲に及んだとき、熱や煙、有毒ガスなどから身を守る、延焼の危険のない場所

こがねい安全・安心メールや小金井市公式LINE・地域安全課公式Xに登録するなどして、普段から積極的に情報収集しておくこと、また、自主防災組織や避難所運営協議会などへの理解が大切と感じました。

でも、自分が住んでいるところは自治会も無いし、あったとしても加入しにくい。近くに防災倉庫があるみたいだけど、よくわからない。協力するといつてもどうすればいいのかしら？

そんなときは、まずは近くの方と顔なじみになり、災害時のこと・防災のこと、いざという時の心構えなどなど話してみませんか？そして、まず第一歩、自分でできることは何か考えて動いてみてはどうでしょう。

市内では避難所訓練なども行われています。市内の東西南北4地域の包括支援センターも相談にのってくれますし、情報発信もしています。避難所運営ゲームや「防災のまち歩き」などもあるようですので、参加してみてもいいかもしれません。

衆議院選挙 自公、過半数割れ 市民のチカラが政治を変える！

石破新総裁－新首相誕生に早期解散で、少しでも負けを減らそうという自民党の狙いは「裏金政治」、手のひら返しの石破内閣、「変わらない」自民党への不信と批判の高まりの前にもろくも破綻、自公過半数割れという深刻な事態に直面することになりました。

一方、野党の立憲民主党は50議席増で148議席と躍進しましたが、比例票の伸びはわずかでした。国民民主党が大躍進、れいわ・参政党も増、逆に維新・共産は減、保守党が新たに議席確保。政治は全体として多極化、流動化の様相です。

東京18区（小金井市、武蔵野市、西東京市）では自民党の福田かおるさんが当選。自民党候補の当選は10年ぶりです。2182票の僅差で敗れた立憲民主党の松下玲子さんは比例で復活当選となりました。小金井市では、松下さんが福田さんに1864票の差をつけ競い勝ちました。市民の自主的な松下応援の動きが成果をあげたと思います。地域から政治を変える市民の動きが、来年3月市議選、6月都議選に向け高まることを期待します。（陣内）

衆議院選挙（東京18区）結果

	福田かおる 自由民主党	松下玲子 立憲民主党	徳永ゆきこ 参政党	樋口まこと 共産党
合計	99,002	96,820	19,496	18,512
小金井市	24,248	26,112	5,114	4,822
武蔵野市	33,839	30,301	5,991	5,857
西東京市	40,915	40,407	8,391	7,833

皆さんにメルマガをお届けしたい！

市民自治こがねいは、「散歩だより」やホームページ・フェイスブック・X（旧ツイッター）で情報をお伝えしていますが、それらを直接皆さんに届ける仕組みはありませんでした。毎月のトピックスなどをお届けできるようメルマガを発行したいと考えています。ご希望の方はこちらからお申し込みください。

<https://form.run/@shiminjichik-kjrFCX1pyfDf0w0Y8SKQ> ▶

編集後記

11月中旬、紅葉も始まったが、山の木を伐採し設置されたメガソーラーのパネルを見るとやはり心がざわつく。ソーラーパネルは都心の建物の屋根に取り付ければいいのに。難しいのかなあ。あと、湯沸かしには太陽の恵みを直接利用したい。私が子どもの頃は、太陽熱温水器が一軒家の屋根の上に割と普通に載っていた。カムバック温水器！(YS)



「続・水どう宝」上映会 &ゲストトークの報告 @宮地楽器ホール小ホール

映画は、沖縄のPFAS汚染問題を追った話題のドキュメンタリー『水どう宝』の続編で、沖縄の母親たちを中心とした市民が立ち上がり行政を動かしていく姿と、米国の母親たちを中心に各地の市民運動が国を動かしていく様子などを織り交ぜ、PFAS汚染の深刻さ、実態を浮き彫りにしています。汚染が明らかになった多摩地域の市民にとっても、多くの気づきと力をもらえる作品でした。

ゲストトークは、横田基地に隣接し高濃度のPFASが検出された立川市の「PFAS汚染を明らかにする立川市民の会」で活動する佐々木憲幸さん。横田基地や立川市の状況をお話しいただきました。

地下水の流れは西から小金井にも届きます。土壤汚染や健康被害など多くの課題があるにもかかわらず、血中濃度などの検査さえ進んでいません。

今回は、PFAS汚染問題に取り組む「小金井の水連絡会」と「市民自治こがねい」「チェンジ東京小金井の会」による実行委員会で企画しましたが、今後も協力しながらこの問題を取り組んでいきたいと思っています。（佐藤）



会員を募集しています
&カンパ大歓迎

- 会費 1口 = 3000円/年
- 賛助会員 1口 = 1万円/年
- ニュースカンパ 1口 = 1000円/年
- 郵便振替 00130-6-352041
市民自治こがねい



市民自治こがねいとは...

この小金井が、ひとりひとりの人権が尊重され、だれもが生き生き暮らし続けられる町であってほしい、この小金井を自治が息づく町にしたい。のために市民自らが発信し、行動し、市政のあり方を変え、町づくりを進めていこう— そんな共通の思いをもつ市民たちのあつまりです。

市民自治こがねい で検索
<https://www.sijiko.com>